

第4回 NGO 海外安全セミナー 開催結果

平成23年2月24日
外務省領事局邦人テロ対策室

1. 概要

(1) 平成23年2月24日(木)13時～16時45分、第4回 NGO 海外安全セミナーを開催。「事前準備と事件発生時の対応:グッドプラクティスの共有」をテーマに、国際 NGO、UNHCR、JICA、民間企業から6名が講師としてパネルディスカッションを行い、海外での人道・開発援助活動に従事する NGO、海外進出企業等約60名が参加して、活発な議論が交わされた。

(2) 冒頭、山花政務官が開会挨拶を行い、海外での援助活動に尽力する NGO が職員の安全確保のために行う取組に対し外務省としてサポートしていくことを表明し、その一環である今次セミナーを、様々な分野での活動に携わる参加者が、安全に関する経験・知見を共有の機会とし、また、ネットワークづくりに活かして頂きたい旨述べた。

2. 本セミナーにおける議論

(1) UNHCR 駐日事務所 e-Centre ケビン・J アレン調整官が基調講演を行い、反政府武装勢力間の抗争等複雑に変化しつつある安全環境(security environment)の中で、NGO 等人道支援・開発援助に従事する者に対する脅威は増しつつあり、戦略的な危機管理のアプローチが求められる、具体的には、情報収集・分析・適用のシステムや、安全管理計画、危機対応訓練の重要性、現地政府・非政府側等との関係構築、メディア対策等が必要と述べた。また、これら論点につき、参加者との間で質疑応答が行われた。

(2) パネルディスカッション第一部「緊急事態に備えた体制整備」において、JICA 安全管理室長・谷口講師から「組織としての安全管理」について、また、NPO 法人ピース・ウィンズ・ジャパン事業管理責任者・山本講師から「NGO のセキュリティ対策」について報告が行われた。両講師から提起された論点のうち、特に、職員の勤務環境の安全確保のため NGO・企業が負う責任として危機を回避しリスクを軽減するための諸方策(情報収集、保険、安全管理計画の作成等)や説明責任について議論が行われた。

(3) パネルディスカッション第二部「緊急事態発生時の対応体制」において、(社)日本在外企業協会海外安全アドバイザー・古賀講師から、「企業の危機に対する対応例」について、また、特定非営利活動法人「難民を助ける会」海外事業部長・名取講師から「NGO における危機への対応と今後の課題」について報告が行われた。両講師報告に引き続き、参加者間で、初動の重要性と日頃からの安全対策(情報収集・リスク分析)等様々な論点について議論が交わされた。

3. 本セミナーの成果

過去最多の参加者と山花政務官の関与を得て開催された本セミナーは、多様な海外活動経験を持つ講師・参加者が、NGO 等海外における組織としての安全対策について積極的に議論を交わし、グッドプラクティスと教訓の共有の機会となった。NGO をはじめとする多く参加者から、当省の取組に対し高い評価が寄せられた。